

10月

5 / 日曜

人間は、神様とともにいるように
創造されました

創世記 1:27 ~ 28

神はこうに、人をご自身のかたち^{じしん}に創造^{そうぞう}された。神のかたち^{かれ}に彼を創造^{そうぞう}し、男と女とに彼ら^{かれ}を創造^{そうぞう}された。(27)



1. 人間が創造^{そうぞう}される前の状況^{じょうきょう}はこうでした(創 1:2)

- (1) 地はかたちがありませんでした(混沌^{こんとん})
- (2) なにもありませんでした(空虚^{くうきょ})
- (3) やみがたいなる水の上にありました(暗やみ)

2. 神様がまずはじめになさったのは「光あれ」とおっしゃったことです(創 1:3)

3. 神様は全地^{そうぞう}を創造^{そうぞう}されました

- (1) みことばで創造^{そうぞう}されました(創 1:1 ~ 16)
- (2) 人間を直接^{ちよくせつ}、創造^{そうぞう}されました(創 1:27)
- (3) エデンの園^{その}を創造^{そうぞう}されました(創 1:2 ~ 17)

4. 神様がつくられた重要^{じゅうよう}な制度^{せいど}があります

- (1) 安息^{あんそく}の制度^{せいど}をつくられました(礼拝)
- (2) 家庭^{かてい}の制度^{せいど}をつくられました(創 2:18)
- (3) 文化^{ぶんか}の制度^{せいど}をつくられました(創 1:28)

5. 神様はいつでも福音で私たちを呼んでおられます

- (1) 光をくださいました(創 1:3)
- (2) 女の子孫^{しそん}を送ると約束^{やくそく}してくださいました(創 3:15)
- (3) みことばが人となって、私たちの間に住まわれました(ヨハネ 1:14)
- (4) やみの中から呼び出して、ご自分の驚^{おどろ}くべき光の中に入れてくださいました(1ペテロ 2:9)

10月

12 / 日曜

人間は、はじめから失敗して
神様は救いをあたえてくださいました

創世記 3:15

わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとにかみつく。



1. 神様は人間をかんぺきに祝福されました
(1) 神様のかたち人間を創造されました (創 1:27)
(2) 美しい園をくださいました (創 1:28、2:1~14)
(3) 美しい家庭をくださいました (創 2:18)
2. しかし、人間が罪の中におちいってしまったのです
(1) へびの中に入ったサタンがエバにうそを言いました (創 3:1)
(2) そのことばにゆれてしまいました (創 3:3)
(3) ゆれたので、サタンは確信をもってうそを言いました (創 3:4)
(4) 人間の傲慢さを刺激しました (創 3:5)
(5) 誘惑には力があります。善悪を知る木の実が、食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましくするようにさせました (創 3:6)
(6) 人間は、霊的な目が暗くなって、肉眼的な目が開きました (創 3:7)
(7) 神様の前で、アダムはエバのせいにして、エバはへびのせいになりました (創 3:12~13)
3. 苦しみの根本が来るようになりました
(1) 悪魔の子どもになりました (ヨハネ 8:44)
(2) 悪魔につかまってしまいました (使徒 10:38)
(3) 人間と土地がのろいが臨むようになりました (創 3:16~20)
4. 神様の救いの方法は、女の子孫キリストです (創 3:15)

10月

19 / 日曜

あまりに悪い人間に神様の
わざわいのぞ
災いが臨むようになりました

創世記 6:14

あなたは自分のために、ゴフェルの木の箱舟をつく。箱舟に部屋を作り、内と外とを木のやにでぬりなさい。



1. 暗やみの組織は、いつでも存在しています

- (1) 暗やみの組織は、この世が作られる前に、やみと、形がないこと、何もないという状態で存在していました。人間を誘惑して墮落させた元を作ったのも、暗やみです（創 1:2、3:1~5）
- (2) 福音がない時代ごとに、災難と戦争のような災いが、かならず起きました。
- (3) 暗やみの組織は、再臨のときまで存在します（マタイ 25:41）

2. ノアの時代に罪がいっぱいになりました

- (1) 不信仰で結婚しました（創 6:1~2）
- (2) ネフィリム時代でした（創 6:4）
- (3) とても悪いことをするようにになりました（創 6:5）
- (4) 神様は、人を造ったことを悔やみ、心を痛められました（創 6:6~7）

3. ほろびから救う約束をくださいました

- (1) しかし、だれもそのことを聞きませんでした
- (2) 神様はノアに箱舟を作りなさいとおっしゃいました（創 6:14、6:18、6:20）

4. ノアを神様は用いられました

- (1) ノアは恵みを受けた人でした（創 6:8）
- (2) 義人でした（創 6:8）
- (3) その当時に完全な者でした（創 6:8）
- (4) 神様とともに歩みました（創 6:9）
- (5) さばきの時に救われました（箱舟）

10月

26 / 日曜

福音の文化をもって
人々を生かしましょう

創世記 11:1~9

それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。主が全地のことをそこで混乱させたから、すなわち、主が人々をそこから地の全面に散らしたからである。(9)



1. 今まであった文化を参考にしましょう

- (1) 封建主義思想
- (2) ルネサンス時代
- (3) 民族主義
- (4) 軍国主義
- (5) 共産主義と民主主義

2. アブラハム時代に神様に挑戦する文化がメインになりました

- (1) レンガと瀝青、町と塔を立てるほど、発展した文明がありました(創 11:4)
- (2) 彼らは塔をたてて天にまで届くようにして、名をあげて、散らされないようにしようと言いました。それは、彼らが高慢だったということです(創 11:4)
- (3) 神様はバベルの塔をくずされました(神様のさばき)

3. 神様の人は、正しい思想を持つべきです

- (1) グローバル思想を持たなければなりません(マタイ 28:16~20、マルコ 16:15~20、使徒 1:8)
- (2) 合理的な思想を持たなければなりません(知識、知恵、哲学、情報、未来)
- (3) 霊的な思想を持たなければなりません(苦難、霊的問題、福音)